

# 令和2年度駐屯地成人行事



陽融会会長より記念品贈呈



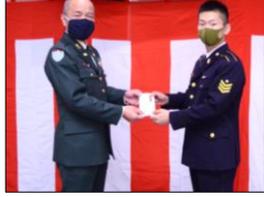
駐屯地司令より記念品贈呈



記念撮影 (撮影時のみマスクを外しています。)



新成人代表 (寺尾士長) 謝辞



曹友会会長より記念品贈呈



駐屯地司令と記念植樹



陽融会会長と記念植樹

駐屯地は、令和3年1月14日(木)、雲一つない晴れ渡る空の下、成人を迎えたい45名の隊員に対して、令和2年度駐屯地成人行事を実施しました。

成人行事に先立ち、成人者達は駐屯地朝礼において、駐屯地所屬隊員の前で成人者としての抱負を力強く発表しました。

団本部隊舎前に場所を移し、成人行事の来賓として陽融会会長(坂下弘親氏)をお迎えして隊員と協同で記念植樹及び記念撮影を実施しました。

記念会食において駐屯地司令より「自覚と責任を持ち、それぞれの部隊において若力を発揮し、諦めず思いっきり頑張ってもらいたい。」と祝辞を述べられました。

また、坂下会長から「強い意志を持って自衛隊に入隊した皆さんに対し、成人を迎え心からお祝い申し上げます。」とお言葉をいただきました。

また、陽融会会長、駐屯地司令、曹友会会長から記念品の贈呈があり、最後に第3施設大隊第3中隊寺尾士長から「今日まで育てていただいた、両親や家族、地域の方々、そしてご指導いただいた諸先輩方にも感謝し、今後は自衛官として、任務遂行に必要な知識、技能、体力を身につけるため、これからも精進して行きます。」と謝辞を述べ、成人行事が終了しました。



オンライン教育の様子



クメール語通訳との調整



教育開始式における群長訓示



カンボジア王国軍の修学の様子



1992年のPKOの様子

第7施設群は、令和3年2月1日(月)から5日(金)までの間、カンボジア王国軍の将校に対する能力構築支援として、PKO活動で道路建設に必要な道路測量技術に関する教育をオンラインで実施しました。オンラインでの能力構築支援は、防衛省・自衛隊初めての試みになります。

1992年9月に陸上自衛隊初の参加となるPKOはカンボジア王国における派遣活動で、第7施設群は、当時の派遣大隊の基幹部隊として現地で活躍した部隊であり、本教育に深い縁を感じながら教官たちは熱意を注ぎ、無事に教育を終了することができました。

今回の能力構築支援事業に対し、NPMCEC(国立平和維持・地雷処理爆発性戦争残存物処理センター)長から感謝状をいただきました。担当教官たちは、教育に対する達成感と両国の架け橋になることができましたという充実感を胸に感謝状を手にしました。



各種教材を使用した教育の様子



感謝状受賞者  
平山1曹、金平3曹、千載3曹

## 令和2年度カンボジア王国軍に対する能力構築支援



炭谷1尉



川上3佐



高田1佐



永井1佐



お世話になりました!



見送りの様子

令和3年3月10日(水)臨時駐屯地朝礼において、転出者紹介及び見送りを実施しました。

大久保駐屯地業務隊長(永井1佐)、第4施設団本部高級幕僚(高田1佐)、第307ダンプ車両中隊長(川上3佐)、第4施設団本部付隊長(炭谷1尉)をはじめ、79名の隊員は、駐屯地所長らとともに見送られながら、それぞれに新しい任地へと転出されました。

## 転出者紹介及び見送り



発行：大久保自衛隊協会の陽融会  
大久保駐屯地桃友会45会  
編集：駐屯地司令業務室  
印刷：進見堂印刷

駐屯地司令要望事項  
即応と信頼  
紙面紹介

- 1面
  - 令和2年度駐屯地成人行事
  - 令和2年度カンボジア王国軍に対する能力構築支援
  - 転出者紹介及び見送り
- 2面・3面
  - 各部隊訓練等記事
- 4面
  - 部隊長随筆
  - 第4施設団兼ねて大久保駐屯地最先任上級曹長着任挨拶
  - 善行褒賞者紹介
  - 曹友連合会第1級褒賞
  - 令和2年度防衛モニター一年を通して
  - 大久保駐屯地さくら散策
  - Twitter 5,000フォロワー達成
  - 編集後記



大久保駐屯地ホームページ

# 各部隊訓練等記事



指向性散弾の設置



携帯障害処理器材の組み立て



足元に注意しながら作業実施



防護マスク、装面



破壊筒による障害処理



地雷原爆破装置の設置



ライナープレート構築



ライナープレート構築

訓練では、破壊筒及び携帯障害処理器材による鉄条網の破壊のほか、夜間における地雷原爆破装置の測量及び設置を実施し、参加した隊員からは、「降雪時や夜間など困難な状況における、適切な障害処理要領を習得することができた。」「実際に爆破を行うことによって、普段の訓練では経験することができない高い緊張感を持って訓練参加でき、爆破後の景況を実際に確認することができた。」といった感想を述べていました。

本訓練は、各普通科連隊及び偵察隊の基幹要員に対し、各種爆破について教育し、師団の任務遂行に必要な爆破技術を保有させることを目的としています。

大隊は、訓練部隊が安全かつ円滑な訓練を実施するために、訓練との統制や新型コロナウイルス感染症防止を実施しつつ教育を実施しました。

訓練では、破壊筒及び携帯障害処理器材による鉄条網の破壊のほか、夜間における地雷原爆破装置の測量及び設置を実施し、参加した隊員からは、「降雪時や夜間など困難な状況における、適切な障害処理要領を習得することができた。」「実際に爆破を行うことによって、普段の訓練では経験することができない高い緊張感を持って訓練参加でき、爆破後の景況を実際に確認することができた。」といった感想を述べていました。

## 第3施設大隊

基礎配置展開命令受領後、群は暗夜を活用して各作戦地域に展開。じ後、前方兵站基地等において支援部隊のニーズに合致した施設支援を実施し、3度の追加任務を含めた計23件の施設作業を完了しました。

訓練間、群は降雨や作業地域の泥濘化等の厳しい条件を克服するとともに、新型コロナウイルスに着意を払って仲間と自分を守り、隊員一人ひとりの行動が作戦の成否に大きく関わることを肝に銘じ、「組織の一体化」を合言葉に群の任務達成に邁進しました。

群は、更なる飛躍のため、引き続き厳しい訓練に励んでいきます。

群は、令和3年2月8日(月)から17日(水)までの間、大久保駐屯地、富山駐屯地、鯖江駐屯地及び日本原演習場において、群総合正訓練を実施しました。

群は、情勢が逐次緊迫する中、10日2000第3種非常勤務態勢に移行し、大久保及び富山駐屯地のそれぞれの地で応急出動準備に着手して、本格的な作戦準備を開始しました。

## 第7施設群



隊戦技競技会(持続走)



C S Mとの知識比べ対決



車両の点検整備中



車両の灯火点検



パネル橋MGBの車両通過



84mm無反動砲実射訓練



昇任者(岡崎3曹)



ぜんざい最高!!

厳しい冬の寒さの中、約12日間に及ぶ訓練期間でしたが、1件の事故もなく任務を完了しました。

器材隊は、令和3年1月13日(水)に陸士長から3等陸曹への昇任者を祝す行事として、競技会を実施しました。

昇任者は、先輩隊員と短距離走、腹筋、腕相撲及び知識比べで対決を行い、陸曹としての誇りと責任を顕示しました。

また、令和3年1月15日(金)に隊戦技競技会を実施しました。

隊戦技競技会では、約3.3kmの持続走を行い、各中隊の士気高揚及び団結の強化を図りました。

さらに、令和3年2月8日(月)から19日(金)までの間、日本原演習場、長池演習場及び大久保駐屯地において第7次隊野営訓練を実施しました。

特殊器材中隊が、84mm無反動砲射撃訓練を担当し、射撃精度の向上を図り、架橋中隊が、パネル橋MGBの夜間構築に併せて橋梁偽装を実施しました。

加えて、京都府南部で震災が発生した場合を想定し、非常召集から始まり、災害派遣の態勢完了まで一連の初動対応訓練を実施しました。

## 第102施設器材隊

昇任者(岡崎3曹)

令和3年3月、コロナ禍で様々な制約を受け、明るい話題が少ない世の中ではありますが、このような時こそ明るく、困難に対しても餅のように粘り強さを持って、第2直接支援中隊一同これからも精進していきます。

第104施設直接支援大隊

大隊は、令和3年1月12日(火)、第2直接支援中隊が整備工場周辺で令和3年訓練初めを実施しました。

訓練初め当初、車両・火器のB整備及び器材の点検整備を実施し、何時如何なる事態にも即動できる態勢基盤を確立しました。

次に、1月1日(金)付で昇任した3名の隊員による持続走を実施しました。

昇任者は、世界文化遺産である宇治上神社に到着後、それぞれの思いを胸に参拝しました。

じ後、昇任者達は、中隊隊員の前で声高らかに決意表明を実施し、新たな階級での第一歩を踏み出しました。

締めくくりとして、小雪ちらつく寒空の中、隊員達は、鏡餅を使用したぜんざいに舌鼓をうち、訓練で冷えた体を温め、訓練始めは終了しました。

令和3年も、コロナ禍で様々な制約を受け、明るい話題が少ない世の中ではありますが、このような時こそ明るく、困難に対しても餅のように粘り強さを持って、第2直接支援中隊一同これからも精進していきます。

## 第104施設直接支援大隊



# 部隊長随筆

## 第3後方支援連隊第1整備大隊

施設整備隊長  
2等陸尉 石垣 圭司



隊は、令和3年1月14日(木)から15日(金)までの間、千僧駐屯地で実施された令和2年度連隊競技戦技会に参加しました。

第3後方支援連隊は4府県、7個駐屯地に所在し新型コロナウイルス感染症防止の観点から集合しての競技会実施が危ぶまれましたが、第3後方支援連隊統制部により、新型コロナウイルス感染症対策を強化することで、実施できることになりました。

競技は、千僧駐屯地において個人走、中隊等対抗の17個チームによる駅伝走及び銃剣道を実施しました。施設整備隊では、持続走においては例年、連隊内において常に上位入賞するなど日頃から陸軍教官の下、練成に励んでいました。

今年も若い陸曹を中心に駐屯地の練成を積み重ね競技会では、駅伝走2位の好成績を収めることができました。駅伝走ではスタートから常に上位を維持してタスキを繋ぎ続け、施設整備隊の代表として隊と個人の名誉を背負って走る姿には感動を覚えました。また応援する者も一体となって応援し競技戦技会を通じて部隊の団結が増したように感じました。来年度も多くの訓練や整備支援がありますが、部隊一丸となつて取り組む所存です。

# 第4施設団兼ねて 大久保駐屯地 最先任上級曹長 着任挨拶

准陸尉 齋藤 竜馬



令和3年3月1日(月)付をもって、第6代第4施設団兼ねて大久保駐屯地最先任上級曹長を拝命いたしました。

歴代の最先任上級曹長が築き上げてきた伝統を受け継ぎ「誇りと謙虚さ」を胸に刻み、更に充実・発展できるように全力で取り組んでいく所存です。

特に、第4施設団長要事項である「心技体の充実」「連携」併せて駐屯地司令要事項の「即応と信頼」を具現すべく、様々な任務に即応し、厳しい状況でも完遂できる強い陸曹・陸士の育成に熱意を持って臨みます。

また、新型コロナウイルス感染症対策に つきましても全隊員が、「自覚と自制心」を保持し、地域の皆様の信頼獲得のため、駐屯地司令を核心として一丸で取組んで参ります。

結びになりますが、平素から協力会会員皆様の温かいご支援、ご協力、誠にありがとうございます。まだまだ若輩者ではありますが、隊員と共に成長していきたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最優先上級曹長上番にあたるべく、ご挨拶とさせていただきます。

# 善行褒賞者紹介



令和3年2月4日(木)に大久保駐屯地正門前での人命救助を実施した3名の隊員に対し、駐屯地司令より善行褒賞を受賞

部 隊 名	階 級 氏 名
① 第7施設群本部管理中隊	1等陸曹 松本 正太
② 大久保駐屯地業務隊	陸曹長 中村 満明
③ 大久保駐屯地業務隊	2等陸曹 中窪 英二

# 令和2年度防衛モニター 一年を通過して

令和2年度防衛モニター

寺本 穂寿美

令和2年4月17日(金)、防衛モニター委嘱式で大久保駐屯地に入らせていただき感じたことは、古い建物だけど少しずつ修繕し丁寧に清掃された大切に施設を利用されているのだなとの思いでした。  
令和2年度はコロナ禍で、記念式典や音楽まつりなどの活動や雑談を送りながら残念でしたが、防衛省の新聞や雑誌を送りつけていただき毎号楽しみに読ませていただいております。  
その中で特に印象に残った記事があり、「老朽化する施設や多様化する自衛隊の任務内容に予算や装備が追いつかず、隊員の方々の「頑張り」だけに頼る環境が続くことが無いようにお願いしたい」と書いている文章がありました。  
そのためにも、組織や国民意識が改善される必要があります。自衛隊、駐屯地が地域住民との信頼において相互協力して行けるよう活動内容を理解して行きたいと思っております。もう一年、防衛モニターとしてお役に立てるよう努めて行きたいと思っております。

# 曹友連合会第1級褒賞



曹友連合会会長、大久保駐屯地曹友会会長(中町曹長)に対し、曹友連合会第1級褒賞を受賞しました。受賞おめでとうございます。

# 大久保駐屯地さくら散策

令和3年3月27日(土)、28日(日)の両日、駐屯地内の桜並木の通り抜けを楽しんでいただく「大久保駐屯地さくら散策」を開催しました。92式浮橋をはじめとする装備品展示も実施しました。日曜日は生憎の空模様でしたが、両日で約1,000名の方々が参加されました。コロナ禍でも力強く咲く桜の花に、一時を満喫していただきました。来場者は普段見ることのない駐屯地で、来場者も自然と笑顔に。働く車、大集合! 史料館も大盛況

# Twitter 5,000フォロワー達成



目指せフォロワー10,000人!

昨年4月22日(水)に、大久保駐屯地ツイッターを開設し、部隊の活動状況、日常の訓練風景、隊員の様子等をタイムリに配信してまいりました。1年を待たずに5,000名の方のフォロワーの皆さんの応援を受けることができ、自衛隊及び大久保駐屯地に対する関心の深さを直接感じることができました。引き続き、大久保駐屯地一丸となり皆様の期待に応えられるよう、努力するとともに普段見ることのできない自衛隊を配信する等、ツイッターの充実を図ってまいります。今後とも大久保駐屯地を宜しくお願いたします。



大久保駐屯地 Twitter



左のQRコード読み取って、フォローお願いします!

# 編集後記

大久保駐屯地広報紙「やましろ」ご愛読の皆様、いつもありがとうございます。私事ではありますが、今回の年度末号をもってやましろの担当を卒業することになりました。平成29年10月号より編集業務に携わり、平成30年度には第4施設団広報紙から大久保駐屯地広報紙へとリニューアルを全うすることが出来ました。これもひとえに、皆様のご支援、ご協力によるものと深く感謝しております。また、私が所属している大久保駐屯地吹奏楽部につきましても、新型コロナウイルス感染症対策を万全に、自衛隊及び大久保駐屯地のことを一人でも多くの方に知っていただくため、演奏活動を頑張っていました。今後とも宜しくお願いいたします。最後に、担当は変わりますが令和3年度も大久保駐屯地広報紙「やましろ」に対し、ますますのご支援ご協力を宜しくお願いいたします。3年間、本当にありがとうございました。(丸山2曹)